

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表								
事業所名		てらびあぼけっと八幡東教室						
公表日		令和7年 3月 9日						
利用児童数		15 名		回収数		14名		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
運営・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				・広く確保されています。	今後も、お子様の年齢や動きに合わせて、スペース確保を工夫してまいります。
	2	職員の数配置は適切だと思いますか。	14				・適切に配置されていると思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				・個別の部屋もあり、子どもたちに、楽しんでいると思います。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				・本人合わせた支援が行われています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると 思いますか。	13	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	14				・されていると思います。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援 に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	14				・契約時に説明がありました。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				・本人合わせた支援が行われています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				・様々な活動をされていると思います。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機 会がありますか。	12			2		今後、機会を設けていこうと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説 明がありましたか。	14				・分かりやすく説明して頂きました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14				・詳しく説明して頂きました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族 等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10			4		今後、機会を設けていこうと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通 理解ができていますか。	14				・子どもの状況などを詳しく教えて頂き理解 できています。	
保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				・アドバイスなど、とても助かります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				・されていると思います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設 けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開 催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援が されていますか。	13			2	・イベントはないですが、兄弟児が事業所 に来た際に相談した時には快くアドバイス も頂けてます。	今後、計画を立てていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、 こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申 入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15				・迅速な対応に感謝しています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いま すか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や 業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1			・録音スタンプで隠して頂いてますが、詳 説等で特定が出来ると思います。	今後、気を付けていきます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症 対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想 定した訓練が実施されていますか。	15					
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われ ていますか。	15					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保 が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生し た際の状況等について説明がされていると思いますか。	15					
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15				・通所を楽しみにしています。	
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15				・通所を楽しみにしています。先生方のお かげで楽しそうです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				・とても充実していると思います。STさん の言語療法があると嬉しいです。	

事業所における自己評価結果

公表

職員5名

事業所名		てらびあぼけっと八幡東教室				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・十分なスペースを確保しています。	広く走り回れるので転倒に注意してきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・基準を満たしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・バリアフリー対応となっていますがトイレの介護用ベッドはありません。	ご利用者様に合わせた対応をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・日頃から衛生管理を徹底しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・個別での対応も出来るようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・評価表を基に定期的にミーティングを実施し業務改善をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・評価表を基に定期的にミーティングを実施し業務改善をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・評価表を基に定期的にミーティングを実施し業務改善をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		・相談支援員と支援方法についての相談の機会を設けてます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・定期的に取り組んでいます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5		保護者の方に見て頂けるよう掲示していただきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		管理者が参加し、他職員に周知しております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園等）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
36		児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		今後、計画していきたいです。
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	5			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				

事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	てらびあぼけっと八幡東教室		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 15	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方との面談の機会の充実	・定期的に保護者の方と面談を行い、細やかにヒアリングをしております。職員間で共有しプログラムを実施しております。	引き続き、職員同士の対話を大切に、保護者の方の声を支援に繋げて行けるよう取り組む。
2	個別と小集団での活動	・共同療育『個別で学んだ事を少人数の活動の中でも発揮し、成功体験を得る場』を意識して取り組んでおります。(半面、個別からでは難しいお子様もいらっしゃいます。)	引き続き、御一人、御一人に合わせてご対応して参ります。
3			
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護同士や所属園などの交流が少ない	・共働きの家庭が多い為、機会を設ける事が難しい。(保護者の方の中には、他との交流を必要とされていない方もいらっしゃいます)	・保護者の方との面談時に御要望をヒアリングして、交流機会を探して行きたいです。
2			
3			